



智頭町 赤十字奉仕団だより

第3号

人間を救うのは、人間だ。

赤十字奉仕団員の信条

一、すべての人々のしあわせを
願う力となって人々に
奉仕する

一、常にくふうして
人々のために
よりよい奉仕が出来るよう
努める

一、身近な奉仕をひろげ
すべての人々と
手をつないで
世界の平和につくす

赤十字の 七原則

人 道 公 平 中 立 独 立 奉 仕 単 一 世 界 性

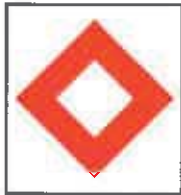
世界の 赤十字マーク



赤十字マーク



赤新月マーク



レッド・クリスタル

ごあいさつ

委員長 大呂 弘子

町民のみなさまには、日頃より赤十字奉仕団活動につきまして格別なご理解・ご支援をいただきありがとうございます。

私達団員は、「できる時に、できる人が、できること」をさせていた
だくという精神のもとで、社会に少しでも貢献できることに、喜びを感
じながら、ささやかな活動をしております。

去る五月十九日(土)、赤十字運動月間に智頭駅前より二班に分れて、
キャンペーンをしながら、どうだん祭り会場へと向いました。

会場で兵庫県から来られた若い男性に声をかけられました。「今日は、
献血車は来てないですか。僕は今、八十八回献血をしています。昨年の東
日本大震災には、出かけて献血をしてきた。お金のある人は義援金で協
力すればよいが、金のない僕は血液を提供するボランティアに心がけて
いる。健康な体でないとい献血できないので、健康には特に留意している。

今日は残念だなあ。赤十字奉仕団のみなさん、ご苦労さまです。」と言っ
て立ち去られました。わずか二・三分の会話でしたが、流れる汗も心地
よい汗となり、心の中を薫風が吹きぬけたようなさわやかな気持ちにな
りました。献血は、いのちをつなぐバトンで
ある。自分がいつ、命を助けてもらう立場
になるかわからないので、出来る時に献血
しようとい赤十字新聞で読んだ事があります。
智頭町でも水防訓練、各事業所での献血活
動に多くの方々のご協力をいただいております。
心より感謝しております。

これからも団員一同陰の力となって活動
を続けていきたいと思っておりますのでよろしく
お願い致します。



防災ボランティア研修会に

参加して

防災委員 久本 孝子

五月十九日(土)まなびタウンとうはくで、開催され、智頭町から防災委員二名参加しました。

今年度第一回目で「こころのケア」についての研修でした。

目的

(1) 専門家による治療を受けざるを得ない状況に至る事を未然に防ぐこと

(2) 専門家による治療が必要な場合は、専門家に引き継ぐこと

災害が発生したら、なるべく早く行動を開始し、出来ることから行う。

被災された方々はいろいろなストレスを抱えているため、不安の軽減とストレスの緩和が大切である。

被災された方々への接し方としては、相手の顔を見て、落ち着いた口調で話したり、親身になって相手の話を聞いてあげるなどの気配りが必要である。

被災状況は一人ひとり違うので、被災者の力を元にそれを引き出しながら、一緒に生活の改善とコミュニケーションの再建とを目標に、自分の力で立ち上がって行く支援を行う。

子ども、高齢者、身体的、精神的、経済的な問題を抱えている人々には、特別な配慮が必要となる。又、支援する人も、安全管理と健康管理を自分で行い、自分自身を過信せず、単独行動でなく計画を立て複数で行動する。問題が発生した場合、仲間たちと話し合いを行い、ストレスを次の日まで残さないようにする事など。

この研修で被災者のみならず、支援者も含めて「こころのケア」の必要性を痛感いたしました。

みんなで支えながら、身近な所から進めて行きたいと思えます。



赤十字ボランティア、リーダー研修会に参加して

綾木 洋子

六月十五日(金)湯梨浜町にて、赤十字ボランティアリーダー研修会が実施されました。

出席者四十二名で参加型学習会でした。

「リーダーの役割」「赤十字が行う災害救護活動について」「東日本大震災における赤十字奉仕団活動」「救護物資の紹介」などの講義を受けました。そのあと、東伯赤十字奉仕団員による人形劇「ねずみの嫁入り」が上演され、なごやかな雰囲気になりました。

グループ討議では、緊急時連絡網整備の必要性、備蓄米の放出では、ハイゼックスによる非常食づくりを日頃から訓練し、「いざ」という時にすぐ役立てるようになしていなければならぬ事などに重点がおかれ、参加者全員で確認しました。

「災害時に奉仕団ができること」の意見発表もありました。

研修会のしめくりは、今後の活動計画作成でした。

この研修会は「みんなが主役、気づき、考え実践する」「団員相互のかかわりが大切である」という事に重点がおかれてあったように思いました。又、各奉仕団の活動内容の情報交換により、リーダーとしての資質向上のための知識を学ぶことができました。

世界へとつながるネットワークの大きさを感じ、自分もその中の一人であることを自覚した一日でした。



「社員研修」行って参りました



今年は、七月五日、日頃の労を労い、キリンビール工場へ行って参りました。

耳では、麦とホップの話や、工場の大きな設備の話聞きながら、なぜか、頭と喉は、旨いビールの香りに誘われ、研修どころではありません。

フラワーパークでの学習や美味しい昼食も食べたような気がしますが、私の頭に残っているものは、あの、一杯のビールの味と、次の日の二日酔いらしき、ここち良いむかつきでした。

でも、これで、また、元気にボランティアを続ける明日の鋭気を頂きました。

楽しい研修旅行ありがとうございました。次は、どこに行きましょうね。

……あるビール大好き社員記



⑧…記事記者とは無関係です

活動あれこれ

お菓子を
どうぞ



お茶は
いかがですか



ふじき荘
お通いください

おめでとう
ございます



総会で 社員さん 傘寿のお祝い



キャンペーンでは街頭で声掛けします

知って得する

少量のお湯でリラックスできる

ホットタオル

用意するもの

タオル2枚

お湯

紙コップ

ビニール袋(レジ袋で可)

作り方

- ①タオル1枚をビニール袋に入れます。
- ②紙コップ半分ほどのお湯をタオルにかけます。

- ③ビニール袋を乾いたタオルで包み、軽く揉みます。

- ④ビニール袋からタオルを取り出し、首などに当てます。タオルはかなり熱くなるので要注意です。



①ビニール袋にタオルを入れ、熱湯をかける



②乾いたタオルに包んで軽く押さえる

「赤十字災害時高齢者生活支援講習ハンドブック」より

平成23年度 智頭町赤十字奉仕団 募金・義援金会計決算

| 月日 | 項目 | 収入額 | 支出額 | 差引額 |
|---------|------------------------------|---------|---------|--------|
| 3月17日 | 東北関東大震災義援金(街頭募金) | 110,000 | 110,000 | 0 |
| 4月9日 | 総会 東北関東大震災支援者 | 15,565 | | 15,565 |
| 4月9日 | 総会 東北関東大震災義援金 | 45,480 | | 60,745 |
| 4月12日 | 日本赤十字社鳥取県支部 東日本大震災義援金として | | 45,180 | 15,565 |
| | 日本赤十字社鳥取県支部 大震災支援活動者の支援募金として | | 15,565 | 0 |
| 10月3日 | ほのぼのフェスタ カレー売上 | 24,200 | | 24,200 |
| | 団員より募金協力 | 3,500 | | 27,700 |
| 12月6日 | 団員より募金協力金 | 3,300 | | 31,000 |
| 12月8日 | NHK海外たすけあい募金 | | 21,000 | 10,000 |
| | NHK歳末たすけあい募金 | | 10,000 | 0 |
| 収 支 合 計 | | 201,745 | 201,745 | 0 |

平成24・25年度 智頭町赤十字 奉仕団役員

地区防災委員

| | |
|---------|-------|
| 地区リーダー | 徳永英太郎 |
| 地区委員 | 河村 修一 |
| 地区委員 | 国岡 俊一 |
| 地区委員 | 平尾 寛 |
| 地区委員 | 国岡 恒雄 |
| 地区委員 | 国岡 智志 |
| 地区委員 | 大坪優美子 |
| 地区委員 | 久本 孝子 |
| 地区委員 | 西尾 功枝 |
| 地区委員 | 寺坂 光子 |
| 委員長 | 大呂 弘子 |
| 副委員長 | 西尾 功枝 |
| 副委員長・書記 | 坂出 文子 |
| 会計 | 山本 幸子 |
| 委員 | 石谷 美芳 |
| 委員 | 大坪優美子 |
| 委員 | 寺谷 栄子 |
| 委員 | 土居 清子 |
| 委員 | 武田 勝枝 |
| 委員 | 河村 修一 |

☆お知らせ

○赤十字奉仕団の拠点は、ひまわり会館の二階にあります。

○事務局は、智頭町役場福祉課です。

☆団員

募集中!

入団希望の方、お電話ください。

75-3652

大呂 弘子

☆あとがき

お陰さまで第二号を発刊できました。次号もお楽しみに。

